

■アクションプラン推進事業の4カ年の総括

(1) 中小製造業者に対する巡回訪問の強化とプロジェクト化のサポート

○市内企業巡回訪問

市内事業所の経営課題やニーズを聞き取るとともに、事業活動への情報提供や提案を行い、市内企業の新たな取組みを支援するため、中小製造業者を中心に訪問活動を行う。

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ 75 件	延べ 77 件	延べ 55 件	延べ 62 件

○課題と成果

〔課題〕

- ・ 繰り返し訪問するなかで、相談内容が新製品開発や販路拡大など、専門的な知識を要するものや行政だけでは対応できないものが増えてきている。そのため、大学や商工会議所など関係機関とのより一層の連携が求められる。

〔成果〕

- ・ 4年間の積み重ねにより、企業との信頼関係が築かれてきている。
- ・ 事業用地のマッチング、産学連携の推進、雇用に関する相談等課題や要望に対して具体的な行動がとれてるようになってきている。

○今後の方向性

- ・ 4年間で構築できた信頼関係を継続・発展させるよう、今後も訪問活動を続ける。
- ・ 訪問活動においては、専門的な課題の解決や事業活動のサポートまで対応できる体制を検討する。

(2) ビジネス交流機会の充実

○茨木ビジネス交流サロン (平成 23～25 年度)

中小企業関係者をはじめ、クリエイターや産業支援機関など、産業に関わる幅広い人材の交流を促進し、新たな連携や取引等につなげることを視野に入れた交流会（講義＋交流会）を実施。

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
3 回開催 延べ 61 人参加	6 回開催 延べ 146 人参加	6 回開催 延べ 107 人参加

○茨木商工会議所 ビジネス交流会事業 (平成 26 年度)

中小企業者のビジネスチャンスの発掘や、自社商品・サービスの開発につなげるべく、専門家による講義と事業者同士による PR および交流の機会を提供。

ビジネス交流会（2 回開催、延べ 61 人参加） 講義および交流会
異業種交流会（1 回開催、124 人参加） 実技指導、PR コンテスト、交流会
創業者向け異業種交流会（1 回開催、37 人参加） 実技指導、PR コンテスト、交流会

○課題と成果

〔課題〕

- ・当初の目的である「事業者による新たな連携や取引」について、成果が見えていない。

〔成果〕

- ・市内の事業者の交流が促進された。
- ・平成 26 年度からは、茨木商工会議所のネットワークとノウハウを活かした事業が展開できている。

○今後の方向性

- ・創業支援事業計画に基づく支援ネットワークとの連携を活用し、「つなぎ」の機能を充実させる。
- ・新たな事業や取引につながるような事業者同士の交流方法を検討する。

(3) 民間の自発的な取組を誘発する仕組みの整備

○プロジェクト創出会議（平成 23～25 年度）

民間プロジェクトの情報交換や交流を促進するため、アイデアの発表や進捗報告、協力者募集、イベントPR等を行う場を設ける。

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4 回開催 延べ 50 人参加	4 回開催 延べ 69 人参加	4 回開催 延べ 52 人参加

○茨木商工会議所 まちのにぎわいづくり連絡会議（平成 26 年度）

市内事業者や商店街のPRとして行っている事業の報告のほか、中心市街地活性化の推進に係る民間プロジェクトの関係者等による情報交換の場を設ける。

6 回開催 延べ 146 人参加

○課題と成果

〔課題〕

- ・会議の参加者が固定化しつつあり、新たなアイデアを持つ人の参加を呼び込むためにも会議の目的や内容を広く周知することが必要。
- ・新しいアイデアを持つ人材の発掘と、その事業化をサポートする体制の検討。

〔成果〕

- ・プロジェクト創出会議から立ち上がった民間プロジェクトの自立化、事業の定着化が見られる。
(鼓動初め、ヴィンテージカーショー、いばらきさん など)
- ・様々な民間プロジェクト関係者の交流が図られている。

○今後の方向性

- ・情報交換・交流の場につなげられるよう、産業振興に関わる新たなアイデアを持った人材を発掘する方法を検討する。

(4) 提案公募事業の創設

○産業活性化プロジェクト促進事業補助制度

民間の主体性を産業振興につなげていくことを目的として、民間事業者等から産業振興につながる企画提案の応募を受け、採択された事業に対して補助金を交付する。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
<応募件数>	4 件	5 件	1 件	6 件
<採択件数>				
企業・商品 P R	2 件	4 件	1 件	1 件
新製品開発	1 件	1 件	0 件	0 件
商店街イベント	—	—	—	5 件

○産学連携スタートアップ支援事業補助制度 (平成 26 年度開始)

市内事業者の技術開発力の向上および製品の高付加価値化をはかるため、市内大学等との連携による研究開発等を行う中小企業者から事業の企画提案の応募を受け、採択された事業に対して補助金を交付する。

応募件数 3 件

採択件数 <新製品開発> 2 件・<新技術開発> 1 件

○課題と成果

〔課題〕

- ・新規事業の申請が少ないことから、制度をわかりやすく広く周知し、新規案件の発掘に努める。(産業活性化プロジェクト促進事業)
- ・大学との連携を希望する企業と大学の担当窓口とのつなぎの部分をつまみ取り計らい産業連携の促進を図っていくことが求められる。(産学連携スタートアップ支援事業)

〔成果〕

- ・「プロジェクト創出会議」から提案された事業をサポートすることで、地域の活性化につながるイベント等が生まれ、定着している。
(いばらきバル、宙いもプロジェクト など)
- ・産学連携による新たな技術の創造や新製品づくりが進んでいる。

○今後の方向性

- ・制度の創設という点では達成したので、今後は申請案件を各補助メニューにうまくリンクさせ、効果的に産業振興につながるよう意識しながら、継続実施する。
- ・産学連携については、企業と大学のニーズ・シーズをマッチングする方法を検討する。

(5) 茨木ブランドの創出と発信

○茨木スイーツフェア（平成 24～26 年度）

特産品化の取組みがある「サツマイモ」を素材に取り上げ、市内の製菓店と連携し、市内の洋菓子・和菓子の魅力を発信し、食による地域活性化を図る。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施期間	3/3～3/24	11/9～12/1	11/8～11/30
参加店舗数	25 店舗	27 店舗	34 店舗
応募件数	204 件	196 件	243 件
スイーツラー以外の催し	市民スイーツコンテスト スイーツマーケット in 梅花	親子スイーツクッキング [※]	親子スイーツクッキング [※]

○ニュースレター（IBARAKI-RYOKU）の発行

アクションプラン推進事業に関連する取組状況の報告や事業の告知等を広く周知するため、ニュースレターを発行。

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
2 回発行 (各 3000 部)	2 回発行 (各 3000 部)	2 回発行 (600 部・ 3000 部)	2 回発行 (800 部・ 2200 部)

○課題と成果

〔課題〕

- ・「茨木ブランド」を改めて検討し、サツマイモ（食のイベント）以外にも、PR できるものが求められる。
- ・茨木市の魅力を効果的に市内外へ発信できる手法の検討。

〔成果〕

- ・スイーツフェアという新たなイベントを実施し、定着・拡大してきた。

○今後の方向性

- ・スイーツフェアについては、取扱う素材や実施方法などについて、新たな展開を検討しながら、継続して実施する。
- ・ニュースレターの発行方法も含め、効果的な PR 方法を検討する。